



なばりんく

4・5月号

しあわせ写真



世代間交流事業

よもぎ餅も天ぷらも
おいしかったよ!!

※世代間交流事業実行委員会の活動記事を2ページに掲載しています。

まちびと探し

今月の
まちびとさん



錦生マジック教室

やまかど かずみ
山門 和美さん(79)

名張市の学校長を定年後、平成13年から地元錦生公民館で9年間館長をされていた山門さん。平成20年に公民館主催で「マジック講座」を開催し、館長自ら受講したのがきっかけで、「マジック」をするようになった。現在、自主サークルとして10名のメンバーで毎月新しい技術を勉強しており、最近では、名張や桔梗が丘のサロンからも声が掛かるほどの腕前になっている。けれど山門さんは「新しいマジックはなかなか覚えられへんね」と笑う。

平成22年には「切り絵」の講座を受講したり、また独学で「ワイヤークラフト」や「万華鏡」についても勉強し、作り方などの技術を身に付け、地元の敬老会、小学校、「ほっとサロン錦」などの集まりでその技術を披露して地域の方に喜ばれている。

地域内の活動だけでなく、以前の経歴から青少年健全育成に関わり県の青少年指導員や名張市のサポート隊員として活躍されている。昨年は永年青少年健全育成に貢献したということで県で表彰された。

若さの秘訣は、「何でも精力的に取り組み、手先を使い頭を使うことで健康につながっている。自分の健康の為に、いろんなことに関わらせてもらっている」と控えめに話す。

最後に「マジックは人の目をいかにごまかすかやけど、子どもの前が一番難しい」と笑顔で語ってくれた。

地域ピックアップ!

《名張地域》 子育てサロン紹介 「まーやにこにこひろば」



市内の生後6カ月からの未就園児の保護者を対象に子育ての楽しみや悩みを話し合い、子どもは子ども同士のふれあいの中で、少しずつ社会のルールを体を通して学ぶ場を提供することを目的に、妙典寺会館で開催しています。この「まーやにこにこひろば」は、部屋いっぱい広げたおもちゃや、家におもちゃなどから“遊びたい”という気持ちを高めたり、日本の伝統的な行事を通して季節感を知ったり、親子でお菓子



を作ってみみんなで一緒に食べたりして交流しています。

3月16日は、4月から幼稚園や保育所に行く子どもたちの最後の集まりということで、17組の親子が1年間の子どもの成長した写真をカットして、押花で飾ったりして記念写真作りをしました。



子どもたちは母親のとなりで自分の写真がきれいに飾られるのを嬉しそうに眺めたり、大きい子はのり付けなどを一緒に行いました。写真を一枚ずつラミネートして出来上がりです。その後は、こども支援センターかがやきの先生によるエプロンシアターや絵本の読み聞かせに、子どもたちは目を輝かせながら見入っていました。

★ 開催日時及び場所：毎月第1・3金曜日 10:00~11:30、本町 妙典寺会館 ★

～春のいぶきを感じよう!!～

千本杵でつくよもぎ餅&野草の天ぷらづくり

「世代間交流事業実行委員会」の活動紹介



世代間交流事業実行委員会は、自然の中での活動や物づくり、昔なつかしい遊びを通して、世代に関わらず、地域のより多くの人々が出会い、交流する機会を提供することを目的に小学生から80歳代までのメンバーで活動しています。

3月18日(日)には、2歳から64歳の参加者が集まり「千本杵でつくよもぎ餅&野草の天ぷらづくり」を武道交流館いきいきで開催しました。野草についての話を聞いた後、“ふきのとう” “つくし” “なずな”などを天ぷらにし、春の味覚をみんなで満喫しました。普段は食べる機会が少ない子どもたちは、「苦いなあ…」 「これも食べられるの？」など言いながらアツアツの天ぷらをほおばっていました。

その後は、千本杵を使ってお餅つきをしました。子どもたちの「ヨイショ!!、ヨイショ!!」のかけ声とともに出来あがったお餅は、白みそ仕立ての雑煮に入れたりして、おいしくいただきました。

世代間交流事業実行委員会は、年に3回のイベントを開催し、企画から実施までを一緒にお手伝いしてくれるメンバーの募集もしています。



★ お問い合わせは、世代間交流事業実行委員会(竹岡) ☎090-1236-1523 ★

トーク ボランティアリレーTalk!

かしま ななみ

鹿島 七美さん (紙芝居の“ひこう船”代表)



名張に来て早31年、ボランティアとの出会いは昭和58年頃です。今は民謡講師として活躍されている方からの誘いで、「三重刑務所に慰問に行かないか」と声を掛けられ、詩吟・社交ダンス・民謡と多彩な演目で年に何度か訪問しました。本当に熱心に身動きもせず見ていただき、すごく緊張した覚えがあります。

平成13年にはメンバー3人で読み聞かせを学校で始めましたが、先生に「紙芝居をしたら」と言われ、新たに“ひこう船”としてボランティアで学校、介護施設、養護施設など7か所を訪問し、お陰様で今年で10年目になります。今ではメンバーも10人になりました。子どもたちの笑顔とふれあう事で元気に頑張れます。

カラオケのボランティア「ドレミの会」は市内介護施設、敬老会やクリスマス会と手品、唄、踊り等で訪問しています。リクエスト曲も多くいただき、利用者の方たちとふれあう事でおたがいに元気に楽しく、「また来てね」との声うれしいです。ボランティアを通して多くの事を学び、たくさんの方たちとの出会いを大切に、これからも元気に頑張っていきたいです。

音楽工房

便り♪



「赤い帽子白い帽子」

♪赤い帽子白い帽子仲よしさん いつも通るよ女の子～
新学期も始まり春らしくなりましたね！お元気ですか？
赤い帽子と白い帽子を仲良くかぶった2人の女の子。背中に大きなランドセルをしょって笑ったり、歌ったりしながら駆けていく様子はずんだようなリズムで書かれています。

まだ第2次世界大戦が始まる前の昭和12年に作られた、ほのぼのとした明るさに満ちた曲ですね。作詞者の竹内俊子は広島県生まれで「てまり歌」など母親が子どもを見守るようなあたたかい曲を書かれています。こんなほのぼのとした歌を一緒にうたいませんか？

平成24年度4月より対象者の枠を越えて音楽をお届けできるようになりました。

みなさんお気軽にご参加ください。お待ちしております。

“みんなでいっしょに唄いませんか”

◆ 4月16日(月)

◆対象：名張市内在住の65歳以上の方

◆ 5月15日(火)

◆対象：名張市内在住の方

上記いずれも

◆時間：10:30～11:30

◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあい

※参加費無料・申込み不要

4月、5月、6月の 介護者サロン“さくら喫茶”

日頃、家族の介護をされている方！！
“さくら喫茶”でお茶を飲みながら、ちょっとひと息つきませんか？

開催日時・場所

- ・ 4月10日(火) 薦原公民館
- ・ 5月7日(月) すずらん台市民センター
- ・ 6月13日(水) くにつふるさと館

上記いずれも

開催時間：13:30～15:30

参加費：100円 (申込み不要)

“さくら喫茶”に来て、「いろいろな話を聞いてもらってよかったわ。気持ちがあっさりしたわ！」

☆お茶、コーヒー、紅茶、お茶菓子等をご用意してお待ちしています。
ご都合のつく時間には是非お越しください。

主催：名張市社会福祉協議会
協力：名張市家族介護者の会「楓の会」



手づくりレシピ紹介! ~サロン、地域の集まりやご家庭で作ってみませんか!~

ネギで作る
“ぬた”

地域の方に提供していただいたネギで作る“ぬた”は、竹とんぼの定番メニューです。みなさんに“美味しい”ととても好評です。



材料(4人分)

ねぎ:120g(約5~6本)

ちくわ:16g(約半分)

又は、うすあげ:約半分

調味料

酢:14g(大さじ 1)

砂糖:8g(小さじ 1, 1/2)

いりこだし:0.8g(小さじ1/2)

みそ:8g(小さじ 1, 1/2)

ピーナッツ粉:8g

(小さじ1, 1/2)

『作り方』

①ネギはよく洗い、

3cmぐらいに切って根の方から先に色よくゆでる。

②ちくわは、さっと湯がいてから細長く切る。うすあげを使う場合は熱湯にあげをくぐらせ油抜きをしてから、フライパンかオーブンレンジで軽く両面を焼いて、細かく切る。

③調味料の材料を混ぜ合わせ、味を調える。

④ピーナッツ粉をよくすり、調味料とすり合わせる。すりごまを使う場合も同様にする。

⑤④に①と②を入れて和えて出来上がり!!

レシピ提供: 食事サービスボランティアグループ「竹とんぼ」

同グループは食事作りが困難な高齢者家庭にボランティアによる食事サービスを実施することで、高齢者の健康を保持し、また地域住民のふれあいの輪を広め、ほのぼのとして明るい地域づくりを目的に、美旗市民センターを拠点に毎月2回(事情により4回を限度として)見守りを兼ね、お昼のお弁当を配達しています。

名張のむかしを歩もう!



松崎町は初瀬街道(お伊勢参り)の町並みで「新地」と呼ばれ、きれいどころの置屋さんがあり、朝からチントンシャンの三味線の音が聞こえる町でした。寿栄(ひさか)神社へお参りする横道は、三軒屋と呼ばれていました。本通りは造醤油屋、造酒屋、造酢屋があり、今では酢屋だけが先祖代々継承中。ありがたい事です。

また、アドバンスコープADSホールが建っている所には、現在の株式会社タカキタの社宅が何軒も立ち並び、毎朝元気に出勤する人々の賑わしさ。名張駅へ通じる横道は十軒屋と呼ばれていました。

昭和30年代後半頃には大きなバスが対向できるほどに道路が拡張され、上野街道は車々になりました。現在の町並みは歯抜け状態で昔の面影なし、時世の変わり目を見張るばかりです。上八町の境目には火の神様・水の神様が祭られ、秋葉・愛宕神社では1月12日、7月12日には町内挙げて祭礼を行い、今も毎夜各戸で常夜燈を灯して町内安全を祈念する普通通りの行を続けています。

そんな昔を懐かしむ八十歳過ぎの老女の私です。

※ おきつもを語る会 竹川 道子



協力:おきつもを語る会(同会は、名張の昔について、見聞や体験で得た習慣、行事など座談会を通じて参加者と共に語り合い、資料にまとめ冊子にするなどして、多くの人に名張の歴史や文化を伝える活動を行っているボランティアグループです。)

発行: 社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地

名張市総合福祉センターふれあい内

電話番号 63-1111

FAX番号 64-3349

ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>Emailアドレス volunteer@nabarishakyo.jp

発行部数: 1, 150部

《設置場所、協力店舗》

総合福祉センターふれあい、市民情報交流センター、各公民館・市民センター、こども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、錦生簡易郵便局、近大高専、名張市役所、名張市立病院、総合体育館、協力店舗(いいの、吉野豆腐、大為陶器、はなびし庵、矢の五薬局夏見店、山平たばこ店、cafémjuk、booksアルデ、サロンきずな、やなせ宿、ひまわり書店、大和屋)

※設置協力店舗募集中です!